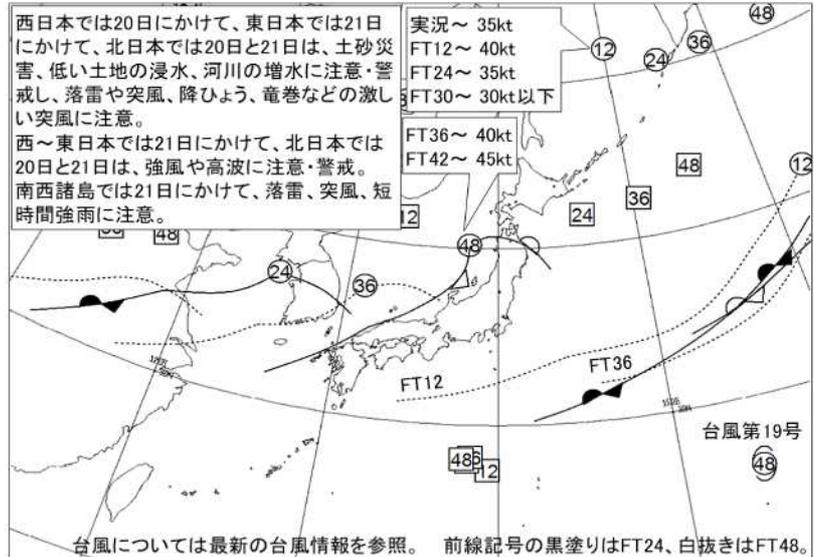


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820m付近の強風軸に対応して九州の南～伊豆諸島～日本の東に前線がのびている。500hPa 5760m付近で-12℃以下の寒気を伴うトラフが本州付近を東進。前線近傍では寒気の影響も加わって雷を多数検知、激しい雨を解析。また、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。
- ② 高気圧が日本の南でほとんど停滞。台風第18号はフィリピンの東を北北西進。台風第17号は南シナ海を北西進。日本の南の上層寒冷低気圧(UCL)と台風の影響で、南西諸島では激しい雨を解析。雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は19日は日本の南に停滞し、1項①のトラフが19日朝にかけて本州付近を通過する。19日は、東日本では前線に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で、西日本では日中の昇温や1項②の高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨が降り大雨となる所がある。西～東日本では19日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、西～東日本では19日は気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き波が高くなる所がある。強風や高波に注意。
- ② 500hPa 5760m付近で-9℃以下の寒気を伴うトラフに対応して、19日朝には華北付近で前線が発生し、19日夜には前線上に低気圧が発生して、21日にかけて発達しながら日本海から北日本へ進む。低気圧や前線に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、局地的には非常に強く吹き、波が高くなりしける所がある。東～北日本では20日と21日は、西日本では20日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。西～北日本では20日と21日は、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。東～北日本では20日と21日は、強風や高波に注意・警戒。西日本では21日は、強風や高波に注意。

- ③ 南シナ海やフィリピンの東の台風周辺の下層暖湿気や1項②のUCLの影響で、南西諸島では大気の状態が不安定となる所がある。また、台風第18号はフィリピンの東を発達しながら西北西進する。南西諸島では21日にかけて、落雷、突風、短時間強雨に注意し、21日は高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ## 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(06時から24時間)：東海100mm。② 波浪(明日まで)：東北4、北海道・伊豆諸島・北陸3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。東～西日本で、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。